

合同ゼミの反省と感想

鈴木・金子・加藤・清水・佐藤

1. 合同ゼミの準備に関する反省と感想

今回私たちはスターバックスについて調べましたが、使える資料かどうかの取捨選択、どんなデータがディベート相手と比較したときに有効にプレゼンの中で使えるかなど、最初は全くと言っていいほどつかめず、苦戦させられました。また、グループ発表であったので、私自身がもっと早く要領をつかんで班員に作業の担当を振り分けられていれば、もっと早く調査をスタートできたと反省しています。しかしその後は、先生からアドバイスをいただきながら、インターネットを利用したり、国会図書館を訪れるなどして順調に資料集めができました。ただ、反省点としてグループ全員で集まる時間がなかなかとれず、情報の共有や予行演習のための練習が不十分でした。

2. 当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちは「スターバックスの将来性」というタイトルをもとにプレゼンテーションしました。スターバックスとディベート相手のドトールコーヒー両社の経営状況をグラフ化したデータや経営戦略を比較しながら発表しました。

具体的なプレゼンテーションの流れは以下の通りです。

- ① 両社の歴史
- ② 両社の経営状況
- ③ スタバのコーヒー、味へのこだわり
- ④ 両社の経営戦略

質疑では、味では1番のスタバのコーヒーがなぜ買いたいコーヒーランキングでは4位になるのか？ タンブラーを持っていくと割引が効くのはスタバ独自のものなのか？ などの質問をされました。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

合同ゼミ本番では、15分という制限時間の中でプレゼンしきれずに途中で終わってしまい、全体での練習不足を痛感させられました。ただ、発表後に藤井先生に、時間内で終わらなかったけど今日が1番よかったと声をかけてもらい、すごく嬉しかったです。反省としては、やはり調査をもっと早い段階から始められればよかったということ、また調べたことについての裏付けはもっとやったほうがよかったと思います。それからのにより、グループでの発表だったのでもっと意見を出し合って、他人任せではなく主体的にそれぞれが動ければもっといいものが出来上がったんじゃないかと思いました。